

6年生の思い出 ～修学旅行編～ 〈一日目〉

一日目 ①「飯盛山散策」

修学旅行の一番最初の行動は飯盛山でした。飯盛山は、戊辰戦争のときに白虎隊の少年達が自殺を凶ったと言われる場所で、実際に戦争中に亡くなってしまった少年の墓が、いくつもありました。その光景を目にした6年生達は、お墓の前に立って、手を合わせていました。過去の出来事を目にしてもそのままにせずに、自然と行動できていて素晴らしいと思いました。

同 ②「班別活動」

修学旅行の飯盛山散策の次は、A・B・Cの三つのグループに分かれて班別活動をしました。班別の行動は、Aグループは武家屋敷でガラスに絵を彫りました。Aグループの皆さんのガラスコップは、絵からそれぞれ個性を感じられて、とても美しかったです。Bグループの行動は、慶山焼きを作りました。その作品は、夏休み前に学校に届きました。Bグループの皆さんの作品は、とても形が整っていたので、綺麗でした。Cグループの行動は、幸泉小法師で「起き上がり小法師」の絵付け体験をしました。とても丁寧に絵付けをしていて、集中していることが伝わってきますね。そして、体験活動が終わったら、それぞれの場所で昼食をとりました。どこの食事も美味しそうで、食欲がそそられますね。

同 ③「七日町の観光」

上記の班別活動が終わったらそれぞれのグループが、七日町に到着しました。この時間では、決まった時間内に、1000円を使って、班の中のさらに分けた男女それぞれ2～3人のチームで、食べたいものや欲しいものを狙って観光をしていました。観光をしている児童からは、「これおいしい!!」や、「もうお金無くなっちゃった」などと、子供達だけの観光に興奮して夢中になっていました。

同 ④「ホテル」

一日目の活動が全て終わると「ホテル ヴィラ・イナワシロ」に宿泊しました。ホテルでも、美味しいご飯を食べたり、温泉に入ったりして一夜限りの特別な時間を過ごしました。中でも会津若松の伝統工芸品である『赤べこ』の絵付け体験は今でも家庭に飾っていたり、印象に残っている児童もいるようです。

6年生の思い出～修学旅行編～ 2日目

2日目 ①「五色沼」

修学旅行2日目6年生がホテルを出発して一番最初に向かったところは、五色沼です。五色沼は福島県北塩原村にある「五色沼湖沼群」の総称で、五色沼を散策しました。私たち6年生は、スタート地点から、ゴール地点まで約1kmを歩きます。散策をしていると、とても色鮮やかな、美しい沼が見えてきました。周囲からも、「うわあ、きれい」や「きれい～！」などの声で拳がっていました。その後、ゴール地点に着いたら、「疲れた～」などの声が聞こえてきましたが、五色沼の景色には圧倒されたことでしょう。

同 ②「野口英世記念館」

五色沼の散策が終わったら、次は野口英世記念館です。野口英世記念館は、細菌学者である野口英世が生前に残した功績をまとめた記念館で、生涯をたどれます。児童たちは野口英世のことをよく知れたでしょう。

同 ③「地ビール館」

野口英世記念館を出て12時ごろ、6年生たちは地ビール館でお昼ご飯を食べました。五色沼の次に野口英世記念館と続いて移動したので、児童たちは疲れの表情を浮かべていました。そんな中でのお昼ご飯は、とてもおいしかったでしょう。

同 ④「日新館」

地ビール館でお昼ご飯を食べたら、次は江戸時代に会津藩が設立した最高学府の藩校で白虎隊の少年たちも学んだ「文武両道」の教育施設である日清館に行って、当時のことを見学してきました。1日目の飯盛山での白虎隊の悲劇を覚えており、同情する声もありました。これで修学旅行の全日程が終了し、バスで学校へ向かいました。バスの中では、疲れた児童たちは、ゆっくりとバスの中でゆっくりと休みました。